

© I Talk You Talk Press
健の物語 (パート 2) Sample
NOT FOR SALE

健の物語 (パート 2)

Japanese Graded Reader Intermediate (中級)

Copyright

けん ものがたり
健の物語 (パート 2)

Copyright © 2024 by I Talk You Talk Press

Publisher: I Talk You Talk Press

Kindle Edition

All rights reserved. No part of this publication may be resold, reproduced, stored in retrieval system, copied in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording or otherwise transmitted without the prior written permission from the publisher. You must not circulate this publication in any format, online or otherwise.

This is a work of fiction. Names, characters, businesses, organizations, products, places, events and incidents are either the products of the author's imagination or are used in a fictitious manner. We have no affiliation with any existing companies mentioned in this story. Any resemblance to actual persons, living or dead, existing stories or actual events is purely coincidental.

Although the author and publisher have made every effort to ensure that the contents of this book were correct at press time, the author and publisher do not assume and hereby disclaim any liability to any party for any loss, damage, or disruption caused by errors or omissions, whether such errors or omissions result from negligence, accident, or any other cause.

For more information, see the Copyright Notice on our website.

Cover illustration image copyright: © paylessimages #34015218 Standard License
Fotolia

Website: <http://www.italkyoutalk.com>

I Talk You Talk Press contact: info@italkyoutalk.com

© I Talk You Talk Press
健の物語 (パート 2) Sample
NOT FOR SALE

健の物語パート2

一

二

三

四

五

六

七

八

九

お礼

Copyright

I Talk You Talk Press Sample (Not for Sale)

一

その夜健と佐保は静かなバーに行き、今後について話していた。

「やっとの事で彼女が出来たのに」と健が言いました。「それに今じゃ君がその彼女だから、一緒にいたいよ」

「分かっているわ。でも、私は遠距離恋愛をしたくないわ」と佐保は言いました。

「ここから米子はとても遠いし、私は米子に彼氏は欲しくないわ。私はここ東京で欲しいの」

「だけど、君の事が好きなんだ佐保。一緒にいよう。毎月君に会いに東京に戻ってくるよ。約束する」と健は言いました。

「健、それはあなたにとって大変よ。もし、毎月東京に戻って来るとしたら、あなた疲れ果ててしまうわよ」と佐保は言いました。

「大丈夫。僕は君に会いたいんだ。僕は疲れ果てるだろうけど、同時に嬉しくなるんだ。頼むよ佐保」と健は言いました。

佐保はワインを飲み、健を見ました。彼はとても親切で彼女の事が大好きです。彼女もまた彼の事が大好きです。

「分かったわ、やってみましょう。私もあなたに会いに米子へ行くわ」と佐保は言いました。

「本当かい！ありがとうございます！佐保！」と健は言いました。

© I Talk You Talk Press
健の物語 (パート2) Sample
NOT FOR SALE

ふたり
二人はなるべく一緒にいる事に決めました。健は佐保に会いに月に一回東京に戻り、
さほ けん あ よなご い こと
佐保は健に会いに米子に行く事にしました。

にちようび あさ けん さほ はねだくこう
日曜日の朝に健と佐保は羽田空港にいました。健は既にチェックインを済ましていま
した。

「またね健。気をつけてね。米子空港に着いたら私にメールを送ってね」と佐保は言
いました。

「そうするよ。またね佐保」と健は言いました。

けん ひこうき の さほ ひこうき ゆ みとど
健は飛行機に乗り、佐保は飛行機が行くまで見届けました。それから、彼女は電車に
の とうきょう ちゆうしんぶ い いえ かえ
乗り東京の中心部に行き、家に帰りました。

いちじかんご けん さほ おく
一時間後に健は佐保にメールを送りました。

ぶじ よなご つ こんや
-無事に米子に着いたよ。また今夜メールするね-

さほ
佐保は

ぶじ つ よ がんば へんしん
-無事に着いて良かったわ。頑張ってるね!- と返信しました。

かのじょ けん ぶじ よなご つ こと あんしん み
彼女は健が無事に米子に着いた事に安心してテレビを見ようとはしますが、健の事を
かんが
考えられずにはいられませんでした。佐保にとってはとても悲しい一日でした。

けん よなご かいしゃ つ くれ へ や なか み まわ
健は米子にある会社のアパートに着きました。彼は部屋の中を見て回りました。そこ
ちい いっしつ ほか ちい
は小さく一室しかなく他には小さなキッチン、トイレそしてとても小さい浴室しかあり
ませんでした。かれ まど あ で
ませんでした。彼は窓を開けベランダに出ました。そこから見えるのは畑でした。畑

© I Talk You Talk Press
健の物語 (パート2) Sample
NOT FOR SALE

みどり
は緑が^{みどり}かかっていて、こちよ^{こちよ}心地良い風が吹いていました。それはとても穏やか^{おだ}かでとても静か^{しず}か
でした。そこは健^{けん}が東京^{とうきょう}で住んでいたアパートと全然^{ぜんぜん}違^{ちが}いました。彼^{かれ}が住んでいたア
パートの隣^{となり}には鉄道^{てつどう}が走^はっており一日^{いちにち}中電車^{でんしゃ}の走^はる音^{おと}が聞^きこえていました。今^{いま}いる
よなご^{よなご}米子^とでは鳥^なの鳴^なき声^{こえ}しか聞^きこえませんでした。

けん めが^{けん}覚^めめて、携^け帯^{たい}をみると午前^{ごぜん}三時^{さんじ}三十分^{さんじゅうぶん}でした。そこには佐保^{さほ}からのメール
がありました。

だいじょうぶ
-大丈夫^{だいじょうぶ}? あなたからのメールを待^まっているわ。時間^{じかん}がある時^{とき}に送^{おく}って下^{くだ}さい。佐保^{さほ}よ
り-

しまった! 寝^ねてしま^まって佐保^{さほ}にメールを送^{おく}れていない! でも、今夜^{こんや}はもう遅^{おそ}いし佐保^{さほ}
は寝^ねているに違^{ちが}いない。明日^{あす}の朝^{あさ}に送^{おく}る事^{こと}にしよう。と健^{けん}は考^{かん}えて、健^{けん}は再^{ふた}び寝^ねまし
た。

-----END OF SAMPLE-----